

令和7年度 岩手県相談支援従事者初任者研修 事前課題について

研修中、下記の事前課題を使って演習を行います。

演習初日(7/24)に、表紙を付けてホチキス止めしたものを2部提出してください。

本事前課題もカリキュラムの一環であり、修了要件の一つです。

必ず、受講される方ご自身で取り組んでください。提出しない場合や、課題の内容に著しい不備がある場合等は、受講の継続をお断りしますのでご注意ください。(受講料はお返してできません)
尚、本事前課題の内容に関する問合せは、岩手県並びに岩手県社会福祉士会では受け付けません。

課題の様式は、岩手県のホームページに掲載されています。

(<https://www.pref.iwate.jp>)

トップページ> くらし・環境> 福祉> 障がい福祉> 事業者情報> 2研修情報)

事前課題 表紙・課題①～⑦を順にホチキス止めしたものを演習初日(7/24)に**2部**提出

- ・表紙
- ・課題① 事例の概要
- ・課題② サービス等利用計画案 別紙Ⅰ 申請者の現状(基本情報)
- ・課題③ 私の希望するくらし[Bシート]
- ・課題④ サービス等利用計画案・障害児支援利用計画案
- ・課題⑤ サービス等利用計画案・障害児支援利用計画案【週間計画表】
- ・課題⑥ グループスーパービジョン(GSV)事例報告書
- ・課題⑦ 地域調査票

課題①～⑤は同じ事例で取り組んでください。

課題⑥は、課題①～⑤とは違う事例で取り組んでください。

事例として取り上げる方(課題協力者)から協力の承諾を得ることが望ましいですが、取り扱い方は各事業所の判断にお任せします。事業所内で協議の上、選定してください。

§ 各事前課題について

表紙

- ・受講決定通知に記載の受講番号、受講者氏名、所属先名を記入してください。
- ・提出漏れのないよう、各課題が入っているか、○をつけながら確認してください。
- ・課題の内容を、所属長や地域の基幹相談支援センターなどに確認してもらい、署名・押印をもらってください。(署名は1枚だけとし、もう1枚はコピーすることで構いません。)

課題① 事例の概要

- ・事例として取り上げる方の個人を特定できないような形(*)で記入してください。
(*例 岩手太郎さん→Aさん 就労継続支援B型事業所いわて→就労継続支援B型事業所Ⅰ)
- ・「事例のタイトル」は、事例のポイントになりそうな内容を自分で考えて記入してください。
- ・「生活歴及び病歴」は、把握している全ての情報を記載するのではなく、主なポイントを整理して記入してください。
- ・A4用紙1枚で収まるよう、情報を整理し端的に記入してください。

課題② サービス等利用計画案 別紙Ⅰ 申請者の現状（基本情報）

- ・課題①と同じ事例で取り組んでください。個人を特定できないような形で記入すること。
- ・この様式は、計画相談支援業務の中で、サービス等利用計画案とともに市町村に提出する、基本情報をまとめるための様式です。（今回はこの様式を使用してください）
- ・実際にサービス利用調整をする想定で課題協力者から聞き取りを行い、記入してください。

課題③ 私の希望する暮らし [Bシート]

- ・課題①②と同じ事例で取り組んでください。個人を特定できないような形で記入すること。
- ・この様式は、岩手県が作成した個別支援計画標準例「私の希望する暮らし」の様式（シート）のひとつで、事例の情報を整理し、ニーズを確認するためのシートです。
- ・岩手県のホームページの中に「私の希望する暮らし」の記載要領がありますので参考にしてください。
(<https://www.pref.iwate.jp>
トップページ> 暮らし・環境> 福祉> 障がい福祉> 事業者情報>
5 サービス事業者等指定基準/指定申請等・介護給付費届出様式>
> 個別支援計画「私の希望する暮らし」

課題④ サービス等利用計画案・障害児支援利用計画案

課題⑤ サービス等利用計画案・障害児支援利用計画案【週間計画表】

- ・課題①～③と同じ事例で取り組んでください。個人を特定できないような形で記入すること。
- ・この様式は、計画相談支援業務の中で市町村に提出するサービス等利用計画案・障害児支援利用計画案の標準様式です。（本事前課題では、この様式を使用してください）
- ・実際にサービス利用調整をする想定で課題協力者から聞き取りを行い、記入してください。
- ・既に実際のサービス等利用計画案・障害児支援利用計画案が作成されている場合でも、丸写しすることなく自分自身で取り組んでください。

課題⑥ グループスーパービジョン（GSV）事例報告書

- ・課題①～⑤とは異なる事例で取り組んでください。個人を特定できないような形で記入すること。
- ・この様式は、グループスーパービジョン略してGSVの演習で使用するためのものです。
- ・グループスーパービジョンとは、事例検討の場の一種ですが、一般的な事例検討と異なり、事例そのものを深めることが目的ではなく、事例提供者の気付きを深め支援に活かしていくことを主な目的にしています。
- ・事例選定のポイントをまとめたものを様式に添付していますので参考にしてください。

課題⑦ 地域調査票

- ・ご自分が働くことになる地域の状況を調べて記入してください。
- ・相談支援専門員として業務を行う上では、市町村や地域の基幹相談支援センター、委託の相談支援事業所等との連携が大切です。市町村や地域の基幹相談支援センター等に確認し、連携を模擬的に体験してみましょう。
- ・「3. 地域の障がい福祉サービス事業所の状況」は、事業所の数だけでなく、地域の特徴も記載してください。（例：短期入所事業所が少なく希望通りの利用が難しい等）
- ・「4. 地域生活支援拠点の概要や設置状況」は、地域の整備状況・検討状況等を調べて記入してください。
- ・「5. 地域の自立支援協議会（1）地域の自立支援協議会の状況」は、地域の状況を調べて記載してください。
- ・「5. 地域の自立支援協議会（2）実習で参加した会議について」は、別紙「令和7年度 岩手県相談支援従事者初任者研修 実習について」を参照してください。演習初日（7/24）は空欄でも構いません。

令和7年度 岩手県相談支援従事者初任者研修 実習について

実習もカリキュラムの一環であり、修了要件の一つです。

必ず、受講される方ご自身で取り組んでください。

実習を行わなかった場合や、実習の内容に著しい不備がある場合等は、受講の継続をお断りしますのでご注意ください。(受講料はお返しできません)

尚、本実習の内容に関する問合せは、岩手県並びに岩手県社会福祉士会では受け付けません。

【実習内容】

6/10 から8/28 までの間に、ご自分が働くことになる地域の自立支援協議会（専門部会等の関連部会を含む）に実際に出席し、検討されている内容や参加者等を確認してきてください。

出席する会議は、自立支援協議会内の会議であれば何でも構いません。

確認した内容を、課題⑦ 地域調査票「5. 地域の自立支援協議会（2）実習で参加した会議について」に記入してください。

自立支援協議会（専門部会等を含む）への参加は、ご自身で市町村等に連絡を取り、日程調整等を行ってください。また、連絡を取る際には「岩手県相談支援従事者初任者研修の実習課題取り組みの為」等、必ず目的をお伝えください。

自立支援協議会（協議会と略す場合もある）は、地域の関係者が集まり、個別の相談支援の事例を通じて明らかになった ご本人・ご家族・地域の課題を共有し、その課題を踏まえて地域のサービス基盤の整備等を着実に進めていく役割を担っています。

相談支援専門員には、ご本人（ご家族）を支える個別支援を行いつつ、ご本人を支えるための地域づくりをするという二つの役割があります。

地域づくりの要となる自立支援協議会の役割について、実習を通じて理解を深めましょう。